

たちばな

2023.4.1



(入学式の熊谷キャンパスにて撮影)



立正大学校友会
公式ホームページ



立正大学校友会
公式LINE

令和5年度 校友会主催保護者懇談会開催のお知らせ

令和5年度の保護者懇談会を下記日程で開催致します。

本年度も、感染防止対策をしっかりと行った上で、全国9会場にて対面による開催とZoomによる配信を予定しております。動画等による配信も引き続き継続して行います。

開催に関する詳細は、4月中頃より郵送にて順次、保護者の皆様へご案内をお送りさせていただきます。

【地方会場】 *状況によっては変更・中止となる場合がございます

日程	開催地	会場	申込締切日
6月3日(土)	宮城県仙台市	仙台サンプラザ	5月12日(金)
6月11日(日)	新潟県新潟市	万代シルバーホテル	5月19日(金)
8月6日(日)	埼玉県さいたま市	パレスホテル大宮	7月14日(金)
8月26日(土)	静岡県浜松市	ホテルクラウンパレス浜松	8月4日(金)
9月9日(土)	福岡県福岡市	オリエンタルホテル福岡博多ステーション	8月18日(金)
9月23日(土)	千葉県柏市	ザ・クレストホテル柏	9月1日(金)
10月14日(土)	北海道札幌市	ホテルニューオータニイン札幌	9月22日(金)

<地方会場プログラム内容>

- 12:30～ 開場・受付開始
- 13:00～ 全体会(学長メッセージ・来賓挨拶等)
- 13:20～ 保護者のための就職講座(講師:キャリアサポートセンター職員)※①
- 14:30～ 個人面談(担当:学事課職員・学生生活課職員・キャリアサポートセンター職員)※②

※① 成績・学生生活に関する面談をご希望の方で講座をお聞きにならない方は、この時間より面談を受けることができます。

※② 個人面談は事前予約制です。当日のお呼び出しの順番は、お申込み受付の順番ではございません。予めご了承ください。面談時間は1組あたり20分を目安としておりますが、お時間は前後することがございます。

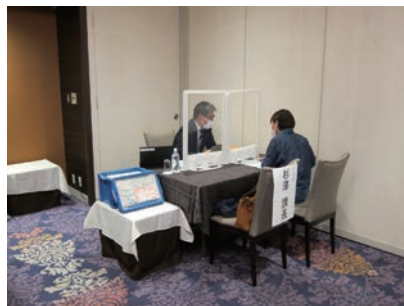
※③ お申込者多数の会場につきましては、面談の順番により、長時間お待ちいただく場合がございますので、予めご了承頂きますとともに、お時間に余裕を持ってご参加ください。



R4年度 新潟会場 位田副学長ご挨拶



R4年度 さいたま会場 保護者のための就職講座



R4年度 さいたま会場 個人面談

【大学キャンパス】 *状況によっては変更・中止となる場合がございます

日程	開催地	会場	申込締切日
7月9日(日)	東京都品川区	立正大学 品川キャンパス	6月16日(金)
12月10日(日)	埼玉県熊谷市	立正大学 熊谷キャンパス	11月17日(金)

<大学キャンパス プログラム内容>

- 11:00～ 開場・受付開始
- 12:00～ 全体会(大学役員挨拶等)
- 12:25～ 学生カウンセリングルームカウンセラー講座(講師:学生カウンセリングルームカウンセラー)
- 13:15～ 保護者のための就職講座(講師:キャリアサポートセンター職員)※①
- 14:30～ 個人面談(担当:各学部教員・学事課職員・学生生活課職員・キャリアサポートセンター職員)※②

※① 就職に関する面談をご希望の方で講座をお聞きにならない方は、この時間より面談を受けることができません。

※② 個人面談は事前予約制です。当日のお呼び出しの順番は、お申込み受付の順番ではございません。予めご了承ください。面談時間は1組あたり20分を目安としておりますが、お時間は前後することがございます。

なお、学部教員による面談の対応は、下記の通りキャンパスごとに分かれております。

(品川) 仏教、文学、経済、経営、法学、心理 (熊谷) 社会福祉、地球環境、データサイエンス

※③ お申込者多数の会場につきましては、面談の順番により、長時間お待ちいただく場合がございますので、予めご了承くださいとともに、お時間に余裕を持ってご参加ください。

【Zoomによるライブ配信】 *状況によっては変更・中止となる場合がございます

日程	開催地	会場	申込締切日
7月9日(日)	東京都品川区	立正大学 品川キャンパス	6月16日(金)

品川キャンパスで開催される保護者懇談会について、Zoomによるライブ配信を行ないます。

○視聴するにはお申し込みが必要となります。申込締切後、視聴用URLをお送り致します。

○全体会～保護者のための就職講座までを当日、ライブ配信致します。

○視聴申込みをされた方で、Zoomでの個人面談をご希望の方は、視聴申込みの手続き後、校友課(03-3493-6673)までお問い合わせください。



R4年度 品川キャンパス
保護者のための就職講座



R4年度 品川キャンパス
学生カウンセリングルーム カウンセラー講座

校友会費B等納入者芳名 (敬称略 五十音順)

～ありがとうございました～

(令和4年9月1日～令和5年3月31日納入分)

◆北海道

磯尾 延行
合瀬 元貴
川濑 怜
北島 俊生
久保 隆二
今 裕
近藤 真司
今野 公一
立谷 浩誓
波岡 玄智
眞神 勇
眞鍋 郁郎
御家瀬 裕
宮崎 千博
村椿 幸二

◆青森県

工藤 明
工藤 堯幸
角田 堯淳
間宮 康文
三浦 真

◆岩手県

小野寺 正典
木藤 養顕
高島 悟
高橋 宏幸
滝田 浩之
田鎖 英明
武田 勝
立野 晃
西山 昌秀
藤原 耕道
藤原 康友
淵本 崇
玉井 邦治
涌田 広重

◆宮城県

坂巻 清
佐々木 龍彦
佐藤 謙一
永戸 太郎

◆秋田県

伊藤 弥
岩谷 宣行
海道 利夫
加藤 博明
工藤 利典

菅原 勇一
戸澤 圭悦
那須 誠
皆川 典子

◆山形県

荒木 敏彰
川越 正彦
後藤 泉
坂本 本忠
坂本 守正
吉田 清美

◆福島県

浅野 不二男
佐藤 優之介
鈴木 秀鳳
手島 光
永沼 直好
福王 賢二
矢吹 康英
吉村 啓作

◆茨城県

荒川 洋平
金沢 繁則
木村 浩二
前刀 一貴
前刀 崇人
沢木 弘
篠崎 一美
嶋野 保
杉山 忠彦
谷島 洋司
槌田 浩幸
中村 三喜
根本 豊
三上 要玄
宮本 瞳
元木 靖

◆栃木県

荒居 養雄
笠原 俊一
鈴木 教郎
須藤 進太郎
多川 好一
野口 起生
三上 隆敏
◆群馬県
相川 正志
植原 孝行

小島 和之
後藤 信也
小林 史明
須田 雅行
関口 拓
高橋 陽子
西島 岳史
松井 雄三
松山 範彦
宮崎 広保
矢島 千乃

◆埼玉県

青田 哲郎
秋山 和広
浅見 實
浅見 君子
石松 明長
稲葉 一洋
井上 文和
岩崎 晴典
江積 広光
大崎 弘貴
大野 史男
柿原 啓子
片岡 勇次
川鍋 孝
木村 えり子
桐谷 光男
小林 裕介
小宮 忠之
小山 久夫
小山 和香
佐山 邦彦
佐藤 和己
重原 悦雄
柴崎 健
下田 雅之
鈴木 規夫
鈴木 啓夫
高橋 康司
塚越 道年
豊田 正雄
長嶋 めぐみ
長嶋 義郎
長堀 明英
野呂 文人
花輪 壮一
宮地 達宏

築田 佳孝
柳瀬 由次
山崎 光洋
山下 良雄
吉岡 茂夫
吉野 文規

◆千葉県

安中 観史
井下田 実
石井 トク子
石川 貞雄
上村 貞雄
鶴沢 貫秀
尾形 勇
岡野 久
荻野 泰継
北尾 義昭
國方 勢津子
小瀧 麗蘭
児玉 常優
児玉 俊常
小山 善之
斉藤 昭憲
齋藤 文太郎

◆東京都

関 陽子
妹尾 理
竹田 軍郁
塚越 崇徳
鶴岡 宏祥
豊田 雅之
中山 恵宏
中山 恵祐
西村 和男
藤崎 剛
藤崎 宏道
松本 照朗
三浦 俊一
宮野 雅之
三好 茂隆
上村 貞雄
上村 淳
森 玲悟
山崎 太志
◆東京都
秋吉 秀人
浅野 元紀
阿部 珠央

阿部 泰雄
池内 淳海
石井 三郎
伊藤 秀紀
岩間 英明
王 在喆
近江 正典
岡部 禎司
小坂 武雄
川崎 厚子
河又 浩昭
木村 元彦
久古 教秀
黒田 文夫
桑本 のり子
後藤 律子
櫻木 光司
三遊亭 神楽

潮田 恒明
志岐 長道
柴 賢悟
嶋 海里
嶋崎 晶子
鈴木 達明
諏訪 紀子
関口 弥寿雄
相馬 竹志
高島 幹男
高橋 美由紀
多田 統一
田村 光信
寺尾 英智
戸田 一誠
戸田 政則
永井 啓文
中迫 勝之
中西 勉
西 義雄
西崎 友一朗
新渡戸 智純
二ノ宮 啓吉

布谷 茂夫
野村 伸子
橋本 重喜
馬場 富男
早川 典久
林 瑠美
原田 忠彦

平田 治之
福岡 孝昭
藤本 幾久
堀之内 三雄
増田 妙子
松野 好一郎
眞野 純一
丸山 佐市
水間 覚代
宮本 雄太
村山 一幸
望月 兼雄
森 健二

八木 日照
安田 裕昭
山口 寿光
横山 裕
吉川 哲夫
米田 欣司
渡邊 彰良
渡邊 寶陽
(宗) 清立院

◆神奈川県

麻生 輝男
石井 亮一
井上 和弘
岡本 篤人
小川 良雄
勝俣 眞和
加藤 和夫
金井 義博
金子 糸子
金子 元彦
亀井 克郎
神澤 二郎
黒田 昭司
國府田 久遠
國府田 義昭
後藤 克教
小林 恵美子
斎藤 光司
佐川 篤志
提督 利男
佐藤 正好
佐藤 力
渋谷 直孝
鈴木 嘉昭
須藤 教裕

高見 昌尋
多賀 俊一
田川 貞光
瀧川 真弘
竹内 成行
戸田 教耀
長崎 明
長澤 隆大
中村 哲也
二瓶 恵子
春田 桃子
肥田 泰敬
平本 俊弘
堀内 良明
前田 敦
三澤 金一郎
三宅 恵公
盛 正明
森井 健吉
森田 喜久
森本 宏
守屋 宣成
柳川 仁江
山本 滋雄
山本 健二郎
由本 謙次男

◆新潟県

秋山 文孝
稲川 彰
岡 観亮
海津 英祥
風間 良光
加藤 ますみ
佐藤 久美子
渋谷 文崇
諏訪 淳一
丸山 稔
村山 成明
八木 豊
吉田 存祐

◆富山県

荒井 美浩
大澤 寛雄
坂本 哲治
清水 浩二
末吉 観道
助重 雄久
多喜 正文

谷口 幸博
中山 博昭
平永 進

◆石川県

榊原 昭英
永田 一孝
中屋 隆秀
畑 昌幸

◆福井県

末富 攻

◆山梨県

有泉 達也
内野 光智
菊地 是宗
小林 二三

佐々木 淑文
高橋 理
角田 義晶
仲澤 浩祐
平野 玄一
町田 英昭
峯野 高弘
山本 本也
米木 義旺

◆長野県

池田 龍珠
小池 重治
荻原 英文
熊野 義正
倉石 康成
小林 英夫
佐藤 幹弘
島田 尚文
下崎 喜一郎

滝澤 空
塚田 賢
鶴見 明夫
永田 完道
早川 要清
福島 隆雄
望月 龍昇
山下 成樹

◆岐阜県

北川 淳司
矢野 忠臣
矢野 義己
◆静岡県
一木 克昭

- | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|-----------|-------|--------|-------|--------|
| 伊藤 通明 | ◆愛知県 | 松葉 善太良 | 蔵本 恭宏 | ◆山口県 | 栗島 誠 | 濱田 義正 | 古波蔵 保成 |
| 大石 純厚 | 石黒 泰良 | 山尾 啓聖 | 原田 宏 | 藤 いね子 | 栗原 正典 | 原川 雅臣 | 小橋川 春武 |
| 太田 芳伸 | 石原 俊彦 | ◆兵庫県 | 三代 暢実 | 藤井 豊子 | 鈴木 陽一郎 | 安永 弁裕 | 渡具知 武和 |
| 大橋 政晃 | 小久保 要子 | 石堂 恵眼 | ◆岡山県 | 松澤 隆 | 茶園 司 | ◆大分県 | 前川 晋二 |
| 岡田 佳典 | 佐治 博英 | 今安 満男 | 石井 英徳 | 宮崎 隆子 | 成田 康彦 | 小野 泰秀 | ◆東京多摩 |
| 加藤 真澄 | 田中 見成 | 北野 実 | 小川 憲一 | ◆徳島県 | 藤川 治良 | 菊池 明智 | 青木 重幸 |
| 兼高 裕 | 深沢 友延 | 中西 桂太郎 | 衣笠 通亮 | 音瀬 泰彦 | ◆佐賀県 | 清松 敏秀 | 赤塚 正坦 |
| 佐野 温要 | 深沢 友遠 | 林田 至弘 | 谷本 泰法 | 須恵 泰正 | 永石 義雄 | 熊谷 拓人 | 伊藤 伸一 |
| 島田 哲生 | ◆滋賀県 | 山本 恵彦 | 近重 智雄 | 鈴木 宏 | ◆長崎県 | 佐藤 俊雄 | 岩崎 良子 |
| 鈴木 常由 | 稲田 毅 | 横山 淳平 | 松尾 拓佳 | ◆香川県 | 池永 恵紳 | 高山 善朗 | 大谷 治 |
| 竹内 一良 | 中紙 賢孝 | ◆奈良県 | 安井 智賢 | 石川 計夫 | 梶原 北天 | 土岐 光 | 岡部 光謙 |
| 田畑 道権 | 杉本 正光 | 出沖 秀雄 | ◆広島県 | 多田 委晋 | 木寺 浩三 | 藤本 裕一 | 神藏 寿観 |
| 角田 憲哉 | 辻 行延 | 佐竹 祥光 | 小林 信行 | 野並 美恵 | 貞方 明彦 | 吉野 亮 | 加茂 佳史 |
| 灘上 法幸 | 中村 龍明 | ◆和歌山県 | 坂元 浩二 | ◆愛媛県 | 佐藤 靖弘 | ◆宮崎県 | 小島 正存 |
| 廣崎 本幸 | 濱 敏子 | 中井 克樹 | 鹿内 要秀 | 讃岐 大玄 | 堀田 泰基 | ◆鹿児島県 | 坂詰 秀一 |
| 船川 守枝 | ◆京都府 | 堀 雄幸 | 多嶋 善孝 | 竹田 利夫 | 堀田 泰淳 | ◆鹿儿島県 | 島崎 康夫 |
| 古田 芳郎 | 上田 尚正 | ◆鳥取県 | 長野 昭雄 | 森 佳範 | 村田 孝仁 | 兵頭 昌明 | 高村 弘毅 |
| 本間 裕史 | 佐藤 文則 | 榎尾 稔正 | 棗田 和敏 | ◆高知県 | 持永 海宣 | 平岡 正見 | 鍋澤 幸雄 |
| 安田 幸彦 | 長谷川 正法 | 岡田 信俊 | 西嶋 宏明 | 楡金 美彦 | 持永 海鳳 | 平川 充弘 | 町田 晴夫 |
| 山下 佳久 | 堀田 泰盛 | 下園 裕樹 | 花本 耕治 | 浜田 俊人 | ◆熊本県 | 藤井 純博 | 安井 美佐江 |
| 渡邊 卓也 | ◆大阪府 | 田辺 哲郎 | 難波 典基 | 吉田 弦 | 岩本 正明 | 松林 清博 | |
| 渡辺 洋子 | 伊藤 志穂子 | 塚田 義史 | 藤井 誠 | ◆福岡県 | 川口 慈教 | ◆沖縄県 | |
| 本妙寺 | 岡部 泰鑑 | ◆島根県 | 矢吹 正直 | 上田 智良 | 白石 隆士 | | |
| | 服部 聖海 | 蔵本 知宏 | (有)ときわ不動産 | 大庭 順一 | | | |

令和5年度校友会費B（卒業生・現元教職員等会費）のご案内

昨年度は校友会費Bにご協力を賜り御礼申し上げます。

ご協力いただきました会費は同窓会活動ならびに在学生支援に活用させていただきます。

令和5年度につきましても、多くの卒業生・現元教職員の皆様にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■令和4年度 校友会費Bについて

会費	年会費	納入期間	2023年4月1日～2024年3月31日
納入金額	3,000円	納入回数	年会費のため、上記期間内1回

氏名掲載 校友会費Bをお振込みいただきました方のお名前を会報に掲載させていただきます。つきましては、掲載を①「許可する」、②「許可しない」のご意向をお伺いしております。お手数ですが、振込用紙の通信欄に記載がございますので、どちらか一方に〇印をお付けいただき、お振込くださいますようお願い申し上げます。なお、どちらにも記載が無い場合には原則掲載を①「許可いただいた」として掲載させていただきます。ご了承ください。

<p>02 東京 払込取扱票</p> <p>口座番号 00100000000000000000</p> <p>金額 417250</p> <p>通常払込料金 3000</p> <p>加入者負担</p> <p>立正大学校友会</p> <p>校友会費B</p> <p>会費番号: 学部学科名または研究名:</p> <p>氏名・フリガナ</p> <p>（ご連絡先電話番号）様</p> <p>【必ずどちらかに〇をお付けください】</p> <p>会報誌にはあなたの納入者一覧へ氏名の掲載を許可します。 * 許可しません</p> <p>裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号 東銀55738号）</p> <p>これより下部には何も記入しないでください。</p>	<p>振替払込請求書兼受領証</p> <p>口座番号 00100000000000000000</p> <p>金額 417250</p> <p>立正大学校友会</p> <p>ご依頼人</p> <p>料金</p> <p>備考</p>
	<p>切り取り線</p> <p>記録簿を訂正した場合は、その箇所を訂正箇所を押していただく。</p> <p>この受領証は、大切に保管してください。</p>

令和5年度 校友会事業計画

令和4年度事業報告・決算報告は5月以降、校友会ホームページへ掲載致します。

◆令和5年度 校友会事業の取り組みについて

昨年度（令和4年度）は、立正大学学園開校150周年を迎えた年となり、コロナ禍が続く中ではございましたが、各種記念事業を開催することができ、多くの校友の皆様にもご参加頂く機会を作ることが出来たと感じております。今後は、ますます皆様が知りたいと感じる大学等の情報をお伝えることに注力し、大学と校友の皆様との繋がりの強化により一層努めて参ります。

令和5年度の、保護者懇談会・ホームカミングデー・各種行事につきましては、感染対策を行った上で、対面による開催とさせていただきます。またあわせてオンラインによる配信を予定しています。

ご参加頂く校友の皆様が安心してご参加頂ける環境づくり・充実した内容作りに努めて参ります。併せて行事のお知らせ等につきましても、より皆様が届きやすい方法を検討し、ホームページやSNS等の活用の充実を図って参ります。

《個別事業について》

①校友会ホームページ・SNS活用について

管理と運用を適切に行い、発信情報内容の充実、最新情報の発信を行う。

②生涯メールサービスの運用管理と活用拡大

利用に関する規定の整備と利便性、情報内容の充実を図っていく。

③会員向け広報告知

校友会報「たちばな」の年3回発行と併せて学園新聞（年3回）のお届けにより大学の現状の取り組みや在学生の活躍、卒業生の活躍等近況情報を提供する。

④校友会ご案内パンフレットの作成

立正大学校友会の活動に関する内容を紹介したパンフレットの作成・配布

⑤在学生支援

- ◆成績優秀奨学生
- ◆大学院研究奨励金
- ◆課外活動助成費
- ◆英会話ラウンジ運営補助
- ◆海外インターンシップ・ボランティア活動奨学金
- ◆学園祭助成
- ◆入学記念品・卒業記念品の贈呈
- ◆課外活動特別助成および各種学生支援

《同窓会との協働連携による支援》

- ◆ホームカミングデーでの地方物産展・懇親会等の開催
- ◆体育会強化クラブへのお米支援
- ◆災害等による困窮学生への奨学金支援
- ◆各県支部による、出身学生への学生支援としてレトルト食品等の配布
- ◆立正大学学園開校150周年記念募金への引き続きの協力

《橋会（保護者の会）との協働連携による支援》

- ◆経済的困窮学生への奨学金給付支援（立正150橋会基金の運用）
- ◆橋会奨励賞授与
- ◆新入生への防災キット配布
- ◆立正大学学園開校150周年記念募金への引き続きの協力

⑥ホームカミングデー・保護者懇談会開催・校友の集い

- ◆ホームカミングデーは、校友の皆様に来校頂き、在学生・卒業生等の交流の場として、また大学をより身近に感じて貰える機会を目的として、品川キャンパスにて橋花祭（学園祭）開催日（11月4日）に併せて開催

- ◆保護者懇談会は、全国9会場にて、保護者の皆様に向けた学生生活相談・就職に関する講演や相談、大学からの情報提供等を目的として大学教職員と懇談出来る機会として開催

- ◆校友の集いは、各地域で活動・活躍されている卒業生による交流会を目的として、各地域において開催

⑦構成団体助成＝同窓会・橋会・郵政会への運営等支援

⑧立正大学学園開校150周年記念募金への引き続きの支援

⑨立正大学校友会創立20周年記念事業に向けての準備を行う

令和5年度 立正大学校友会収支予算書 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

収入の部

科目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
校友会費	124,210,000	129,960,000	△ 5,750,000
総計	124,210,000	129,960,000	△ 5,750,000

支出の部

科目	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
入学記念品作成費	6,200,000	6,200,000	0
卒業証書(修了証書)ホルダー作成費	922,000	922,000	0
卒業記念品作成費	16,525,000	15,275,000	1,250,000
除菌スプレー作成費(在学生配布用)	0	3,000,000	△ 3,000,000
大学院生研究奨励金	1,000,000	1,000,000	0
校友会成績優秀奨学生	10,500,000	10,200,000	300,000
課外活動助成費	11,800,000	11,800,000	0
課外活動特別助成費	3,000,000	3,000,000	0
学園祭実行委員会助成費	4,800,000	4,800,000	0
英会話ラウンジ補助費	2,000,000	2,000,000	0
海外インターンシップ補助費	1,500,000	1,500,000	0
大学同窓会助成費	24,500,000	24,500,000	0
橋会助成費	1,000,000	1,000,000	0
郵政会助成費	900,000	900,000	0
講師講演料	490,028	467,754	22,274
雑給	528,000	367,500	160,500
会議会合費	3,560,000	4,140,000	△ 580,000
旅費交通費	250,000	250,000	0
通信運搬費	10,833,000	10,081,000	752,000
印刷製本費	7,740,000	7,990,000	△ 250,000
委託費	4,636,600	3,271,600	1,365,000
手数料報酬	464,737	401,137	63,600
公租公課費	10,000	20,000	△ 10,000
賃借料	200,000	200,000	0
校友会積立金	2,000,000	2,000,000	0
予備費	8,850,635	14,674,009	△ 5,823,374
総計	124,210,000	129,960,000	△ 5,750,000

令和4年度校友の集い ホームカミングデー in 橘花祭 開催報告

11月5日(土)に品川キャンパスにて「令和4年度校友の集い ホームカミングデー in 橘花祭」を開催致しました。当日は、卒業生、保護者、地域の方など多くの方にご来場いただき盛況となりました。

またこの日は、学生主催の学園祭との同時開催であったこともあり、学生との交流を行うことも出来ました。開催された各イベントの紹介報告です。



教職教育センター×校友会 教職の集い

10:00~17:00 942教室・943教室

第1部: 記念講演会・講演会 10:00~12:00

第2部: 現在の教職採用の現状や対策の紹介・卒業生の授業実践の様子など 13:30~15:00

第3部: 交歓会・データサイエンス学部紹介 15:20~17:00

来場者: 第1部~第3部通しで参加: 38名



テーマ: 笑う門には何がある?!

来場者: 90名



キッズルーム (オムツ交換・授乳コーナー完備)

10:00~16:00 第3会議室
社会福祉学部卒業生のみなさまのご協力により運営しております。

来場者: 20名位



橘会主催 キャリアサポートセンター協力

11:00~12:30 9B21教室 就職講演会

(企業人事担当者によるパネルディスカッション)

講演者: キャリアカウンセラー (国家資格)・東亜電気工業株式会社・株式会社アイエンター

来場者: 98名



大学史料編纂室協力

11:00~16:00

写真で見る立正大学の歴史

9号館1階通路: 90名位の来場がありました。



立笑(正)点

13:00~14:30 第7会議室

卒業生の落語家による、寄席と大喜利を開催

演者: 古今亭菊龍・三遊亭神楽・古今亭志ん五・三遊亭鳳笑

来場者: 35名



卒業生参加型企画 講演会

13:30~14:30 921教室

経済学部卒業生の高橋和也氏の企画 全盲弁護士の夢のかなえ方~「だから無理」より「じゃあどうする」の方が面白い!~
講師: 大胡田誠氏 (おおごだ法律事務所 弁護士)



物産展

10:00~16:30 学生広場テント

◆立正大学同窓会女性部会×東川町
北海道東川町産のお米
「ななつぼし」販売
売上金41,500円を学生支援へ寄付しました



◆大和リゾート株式会社

千葉県の名産品と長野県の名産品を販売



大学院文学研究科修士生の集い

15:00~16:45 932教室

講演者: 板橋勇仁教授・森田直子准教授・伊澤高志准教授の3名による鼎談

令和5年度立正大学同窓会全国大会in香川

今年度の同窓会全国大会は「香川県善通寺市」で開催致します。

会場となります「旧善通寺偕行社」は旧陸軍11師団将校の社交場として明治39年に開設され、その後、本学卒業生の笹川龍一氏が中心となり改修した施設で国の重要文化財に指定されています。コロナ禍が続き、同窓会全国大会の開催も出来ない状況が続きましたが、今回香川県支部同窓会の皆様のご協力も賜り香川県で開催する運びとなりました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆日程：令和5年6月24日（土）
- ◆会場：旧善通寺偕行社
住所：香川県善通寺市文京町2-1-1

◆スケジュール

- 12:00~13:00 受付
- 13:00~13:40 開会・物故者追善・会長挨拶・
開催地支部長挨拶・来賓祝辞
- 13:45~14:30 記念講演会
- 14:30~17:00 懇親会



偕行社外観

《記念講演会》

演題：弘法大師空海のふる里

講師：笹川 龍一 氏

(本学文学部史学科卒業・前善通寺市教育委員会教育部長)

善通寺市では、令和5年は空海弘法大師の生誕1250年を記念する様々なイベントが開催される予定とのことです。



《懇親会》

立食形式

香川県といえば「讃岐うどん」ということで讃岐うどんの屋台を予定しております。アトラクションとして、善通寺市郷土芸能「和唐内獅子舞」をお楽しみ頂く予定です。食を楽しみ、郷土芸能を鑑賞し、卒業生同士の久しぶりの交流をお楽しみください!!



東京から善通寺市までのルート紹介 移動のご参考にしてください。



《空路利用》

羽田空港7:55 (JAL475便) ⇒高松空港9:45 (琴参バス⇒丸亀行) ⇒坂出駅前10:35
JR坂出11:00 (JR5229M琴平行) ⇒善通寺駅11:27



《鉄道利用》

東京駅6:33 (のぞみ5号) ⇒岡山駅9:46 10:05 (南風5号) ⇒善通寺駅10:55
東京駅7:30 (のぞみ11号) ⇒岡山駅10:47 11:05 (南風7号) ⇒善通寺駅12:01
善通寺駅から会場となります旧善通寺偕行社までは徒歩約5分です。

《申し込み・お問い合わせ》

全国大会へご参加されます方は下記内容をご記入いただき、学長室校友課宛に郵送または、メール・FAXにてお申込みください。

6月15日（木）申し込み締め切りとさせていただきます。

- ◆氏名 ◆卒業学部・学科 ◆卒業年度 ◆参加人数 ◆ご住所 ◆ご連絡可能な電話番号
(郵送の場合) 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 立正大学学長室校友課宛
(Email) alu@ris.ac.jp (FAX)03-3493-9068

★お問い合わせ先 学長室校友課 TEL: 03-3493-6673 Email: alu@ris.ac.jp

同窓会全国大会 in 香川ご挨拶

立正大学同窓会香川県支部 支部長 増田 典紀

同窓会会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

立正大学同窓会の決議機関である定期総会は、昨年より、親睦を図ることを目的とした全国大会へと名称を変えました。そして、今夏、全国大会初の地方大会として「立正大学同窓会全国大会in香川」を香川県善通寺市で開催致します。

地方大会は、会員間の親睦だけではなく、開催地の歴史や現状を知り理解する集いでもあると思います。地方の市町村の多くは、少子高齢化や生活様式の変化の影響を大きく受け、活力を失いつつあります。各地では、様々な地域活性化策を打ち出していますが、何よりも多くの人に足を運んでいただき、地域を知ってもらうことが重要です。

本学同窓会地方大会は、正に、この地域活性化策への一助となる力を持っていると確信すると同時に、大学側にとっても、地方の人たちに「立正大学」の名を知ってもらい、理解してもらえる絶好のチャンスになるのではないのでしょうか。このような思いから香川県支部は、少しでも香川県・善通寺市を元気にさせる足掛かりにしたいと、4年前に地方大会の開催地に立候補しました。

開催地香川県は、全国で一番小さな面積で、温暖少雨の穏やかな気候に恵まれ、瀬戸内海の多島美や美しい田園風景に囲まれた県です。この香川県の中西部に位置するのが、人口3万人の小さな市、善通寺市です。

善通寺市は、古くから弘法大師空海の生誕地真言宗総本山善通寺を中心とした門前町として発展してきました。近代以降は、旧陸軍第11師団司令部が置かれた軍都として、戦後は、旧軍施設跡に陸上自衛隊駐屯地・農水省研究機構等の国の機関や大学・高校が設置され、公務員と文教の都市として現在にあります。市内は、寺院と近代建築が融合した独特な景観を残しており、今年は弘法大師空海の生誕1250年を記念する様々なイベントが催されます。そして、全国大会は、国の重要文化財に指定されている旧陸軍将校の交流と研究施設であった「旧善通寺偕行社」で行います。

また、讃岐うどんをはじめとした地元食材を使った料理や郷土芸能等、楽しんでいただける大会にしたいと思っております。

多くの皆様が「立正大学同窓会全国大会in香川」へご参加頂きますようお願いしております。

お遍路さんへのお接待とおもてなしの心でお待ちしております。

校友会から卒業生・入学生へ 記念品の贈呈

卒業生の皆様ご卒業おめでとうございます。入学生の皆様ご入学おめでとうございます。

ご卒業、ご入学をお祝いして校友会より記念品を贈呈いたしました。

今後の皆様のご活躍を祈念しております。



同窓会全国大会 in 香川オプショナルツアー ～香川県中讃地方を巡るツアー～

今年度の同窓会全国大会を善通寺市にて開催するにあたり、是非善通寺市の魅力に触れて頂きたいとの思いから、香川県中讃地域の主要観光地を巡るツアーを企画しました。

多くの方のご参加をお待ちしております。

主催：文学部同窓会・同窓会香川県支部による共催
日程：令和5年6月25日（日）8時30分～17時30分
（終了予定は目安時間です）

集合：8時30分 善通寺市役所（偕行社入口駐車場）

参加費：3,000円（昼食代・拝観料・バス代を含む）

行程：総本山善通寺（弘法大師空海生誕の地・四国霊場75番札所）⇒ 金刀比羅宮（石段785段を上ります）
⇒ 琴平中野うどん学校（うどん作り体験・昼食）⇒ 満濃池（日本一のため池 弘法大師空海が工事指揮監督）⇒ 丸亀城（現存12天守・石垣の高さを誇る）⇒ JR丸亀駅 ⇒ 善通寺市役所 ⇒ 高松空港
* JR丸亀駅以降は、参加各自の帰路方法により下車する場所をお選びください。

募集人数：50名（定員で締め切り）

*文学部同窓会会員およびその家族、友人、香川県支部会員およびその家族、友人を優先します。
なお、他学部卒業生の友人もお誘いの上、お申し込みください。

申込方法：文学部同窓会事務局 西岡様宛

メール・郵送のどちらかによるお申し込み

お申込みにあたり、氏名・卒業年度・卒業学部学科・住所・携帯電話番号を記載頂き下記へお送りください。

メールの場合：y.nishioka@jcom.zaq.ne.jp

郵送の場合：〒144-0055 東京都大田区仲六郷2-6-2 立正大学文学部同窓会 西岡 様

申込締切：令和5年6月9日（金）

注意）6月24日（土）宿泊につきましては、各自にてお手配ください。



金刀比羅宮



丸亀城

令和4年度課外活動顕彰

～ 頑張った在学生へ同窓会より祝賀を贈呈 ～

令和4年度の課外活動顕彰が発表され、頑張った在学生へ同窓会より祝賀を贈呈しました。
顕彰された課外活動団体および個人の皆様おめでとうございます!!

【団体部門】

- ◆ 体育会水泳部
- ◆ 独立団体吹奏楽部
- ◆ 体育会龍球部
- ◆ 体育会剣道部
- ◆ 体育会バドミントン部
- ◆ 体育会ソフトテニス部

【個人部門】

- | | | |
|------------------|-----------------------|-----------------|
| ◆ 体育会剣道部 隅元佑耶さん | ◆ 体育会剣道部 飯塚保斗さん | ◆ 体育会水泳部 牛丸真秀さん |
| ◆ 体育会水泳部 福光海斗さん | ◆ 体育会水泳部 高久麻希さん | ◆ 体育会水泳部 飯田悠斗さん |
| ◆ 体育会水泳部 高田伊武紀さん | ◆ 体育会弓道部 河崎大喜さん | ◆ 体育会弓道部 黒田沙里さん |
| ◆ 体育会射撃部 成川和馬さん | ◆ 体育会剣道部 岡崎鈴葉さん | ◆ 体育会剣道部 石島歩武さん |
| ◆ 法学部 大谷陸斗さん | * 学外 第17回全日本ビーチサッカー大会 | |

《同窓会》支部学部研修会・総会報告

《沖縄県 研修会報告》

◆ 11月27日(日) ◆ 首里城見学会・懇親会



《香川県 支部総会開催報告》

◆ 2月4日(土) ◆ 四国高松温泉 ニューグランデみまつ

同窓会新潟県支部 「じよんのび村」見学報告

1月30日(月)に「じよんのび村」および強化クラブへ支援を行っている「新潟米作りプロジェクト」の田んぼ、新潟産業大学附属高校を校友会担当副学長の位田副学長が訪問し、支部長・事務局長も同行しました。

今回の訪問に至った経緯は、以前に齊藤会長へ新潟県支部より柏崎市にある「じよんのび村」施設について学生のクラブ・ゼミ合宿を誘致出来ないかとの提案から実現されたものです。



じよんのび村

新潟米作りプロジェクト田んぼ

アマチュア無線部OB会開催報告

11月5日(土) 14時から、品川キャンパス近くにある「タコ安」(卒業生のお店)にて3年振りとなる「立正大学アマチュア無線部OB会」を開催しました。多くの方にご参加頂き、久しぶりの再会もあり、盛会となりました。

当日は、橘花祭(学園祭)やホームカミングデーも開催されており、学内は在学生・卒業生・地域の方等多くの方で賑やかでした。

開校150周年を迎えており、久しぶりに見るキャンパスには新しい立派な建物も建ち、みんな驚いていました。

今は、このご時世かアマチュア無線部は廃部となっており、新しい後輩がないのが残念です。



行事開催のご案内

《経営学部同窓会 総会》

- ◆令和5年5月20日(土) 17:00～
- ◆立正大学 品川キャンパス
第8会議室(8号館2階)

《文学部同窓会 総会》

- ◆令和5年5月27日(土)
- ◆立正大学 品川キャンパス
第5(B)会議室(11号館11階)
- ◆講演会:立正大学名誉教授 山下正治先生
- ◆講演会後に懇親会の開催を予定しております。
(後日決定後ご連絡)

《仏教学部同窓会 総会》

- ◆令和5年6月23日(金)
- ◆岡山県岡山市内
- ◆来賓:立正大学長 寺尾英智先生(予定)
- *会場および詳細は決定次第ご案内いたします。

《千葉県支部 総会》

- ◆令和5年5月27日(土)
- ◆法音山 行光寺
(住所)千葉県市原市草刈1328
*京成千原線ちはら台駅徒歩5分
(TEL) 0436-74-0847
- ◆講演会:立正大学長 寺尾英智先生

《東京多摩支部 総会》

- ◆令和5年6月4日(日) 15:30～
- ◆八王子エルシィ
(住所)東京都八王子市八日町6-7
(TEL) 042-623-2111
- ◆記念講演会:立正大学長 寺尾英智先生

《北海道支部 総会》

- ◆令和5年8月26日(土)
- ◆ホテルポールスター札幌
(住所)北海道札幌市中央区北4条西6丁目
*JR札幌駅南口徒歩5分
(TEL) 011-330-2532
- ◆講演会:立正大学長 寺尾英智先生

《千葉県支部 60周年記念》

- ◆令和5年11月25日(土) 13:00～
- ◆立正大学同窓会千葉県支部60周年記念式典
- ◆記念講演会等を予定しております。



ロータスホール

校友会成績優秀奨学生および大学院研究奨励に関するご紹介

校友会では学生支援として多くの事業を展開しておりますが、今回、「成績優秀奨学生」と「大学院研修奨励」についてご紹介いたします。

◆校友会成績優秀奨学生

趣 旨: 学修支援活動の一環として、学修意欲向上を促すことを目的とした支援制度です。

対 象: 当該年度の学部1・2・3年生

人 数: 当該年度の各学部学科交付者数の各学部学科の入学定員の按分比で決定する
*年度により採用人数は変動する
(参考:令和3年度採用者数:96名)

審査方法: 当該年度のGPA上位者より選考

副 賞: 表彰状ならびに奨学金100,000円

発 表: ポータルサイトを通じて該当者にお知らせします

詳細はポータルサイトへ掲載をしておりますので、ご参照ください。

◆大学院研修奨励

趣旨: 大学院生に対し、研究者として成長の支援をするとともに、大学院における研究活動の活性化を図ることを目的とした制度です。

対象: ①大学院生

②信頼できる査読制度のある雑誌、またはそれと同等以上と認められる雑誌に論文が掲載

③学術出版社から著作(共著を含む)を刊行

④在籍中は年度内何度でも応募可能。ただし同一テーマの複数回申請は不可

⑤申請は、原則 1論文につき1名

⑥論文掲載された学術誌、または著作および発表論文の発行日令和4年3月1日から令和5年2月28日までのもの。

選考: 書類審査および校友委員会で審査を行ないます。詳細については、ポータルサイトへ掲載をしております。ご参照ください。

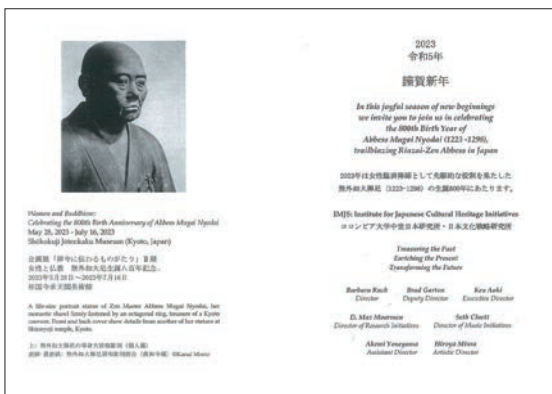
立正大学特別荣誉教授 渡邊 寶陽

いつの間にか満九十歳になってしまった。今年もNYのコロンビア大学「中世日本研究所長」のDR. バーバラ・ルーシュ名誉教授から新春の御挨拶を頂いた。昭和59年の頃、ハワイ大学のジョージ・タナベという日系二世の〔宗教学部教授〕と夫人ウィラ・タナベ〔芸術学部教授〕からの呼びかけで「国際法華経学会」が五日間、日米の法華経に関心のある学者によってハワイ大学で行われた。大正大学の一島正真師を介し、東京大学を定年退職後に立正大学教授に就任した田村芳朗氏を通じての呼びかけによる。

その少し前に、三辺博之常任理事〔法学部教授〕の提案であったか？ 立正大学に二十年以上勤続した事務職員諸氏に欧米の大学見聞を体験させる企画が実現した。ボクは外国での学会に気が進まなかったが、故・塚本英憲事務長が欧米への飛行機の体験が忘れられず、一緒に行きましょうというので、仏教学部の若手と参加することとなった。ご年配の方は知るであろうが「上皇」様が少年の頃、ヴァイニング夫人が家庭教師であった。それらの方々の提唱による「フレンズ奉仕団」にルーシュ先生は14歳の頃来日。その後、ドナルド・キーン博士の指導を受け、オランダのライデン大学に所蔵の『奈良絵本』研究などのため、京都大学に留学。コロンビア大学に「中世日本研究所」を

設置したのも、その延長上のことであった。

実は国際的な「法華経研究」を提唱する企画は、ジョージ・タナベの恩師、コロンビア大学のバーバラ・ルーシュ教授の提案による。五日間にわたる討議の熱気は凄まじいものであった。第二回「国際法華経学会」は、大正大学との共催で、立正大学で引き受け、第四回も立正大学で引き受けた。いずれも欧米の学者が参集し、ルーシュ先生も来校された。ルーシュ先生は、ある時、「無外如大」(むがいによだい)という禅尼に出会う。日本仏教では尼僧は評価がなかった。そうした中で禅尼として、壮烈な活動を遂げた「無外如大」に傾倒し、コロンビア大学「中世日本研究所」開設三十周年の際に、コロンビア大学の教会堂で如大禅尼の追悼法要を行い、「日本史の中での尼寺文化」というシンポジウムを行ったという。今年は、無外如大禅尼の生誕八百年にあたるというので、相国寺承天閣美術館で企画展が開催される。国際法華経学会以前にジャクリーン・ストーン〔後にカリフォルニア大学ロサンゼルス校教授〕が博士論文完成のために、立正大学に田村教授を訪ねて、日蓮教学研究所で勉強し、またその後、イタリアからルチア・ドルチェ〔その後ロンドン大学教授〕が立正大学で勉強した。そんな時代があったことに遭遇したことを懐かしむ。



バーバラ・ルーシュ名誉教授から新春の御挨拶状



女性と仏教について語りあうバーバラ・ルーシュ氏(右)

出典：日本人のこころの旅：山折哲雄対談集

令和4年度 立正大学橘会奨励賞

橘会では、学生を対象に学術・文化・スポーツ・慈善活動・その他広範囲の分野において活躍・努力をしている個人・団体を表彰し、支援を行っております。受賞おめでとうございます。表彰式は、橘会定期総会開催時に行う予定です。

★受賞者★

《優秀賞》 田中陸都さん（地球環境科学部 環境システム学科 2年）

『子供の街』をテーマに事業を展開し、子供たちに社会の仕組みを教え 夢や希望を与える活動を行っていることから、今回の受賞に至りました。

令和5年度 橘会定期総会開催のご案内

令和5年度の橘会定期総会を開催致します。多くの保護者の皆様のご参加をお待ちしております。

日程：令和5年5月27日（土） 14：00～16：00

会場：品川キャンパス 第7（B）会議室

◆第1部＝橘会奨励賞授賞式

第2部＝定期総会

- ＊令和4年度事業報告・決算報告 ＊会計監査報告 ＊役員交代の件
- ＊令和5年度事業計画案・予算案承認 ＊立正150橘会基金について
- ＊学生支援について ＊その他

申込方法：後日「立正大学橘会定期総会開催のご案内」を郵送にて送付致します。

お手元に届きましたら、ご参照頂きお申込みください。

問い合わせ先：立正大学学長室校友課 TEL：03-3493-6673 Email：alu@ris.ac.jp

*状況により、定期総会開催形式を変更させて頂く場合がございます。
その際には改めてご案内申し上げます。

入学生へ防災キットを配布

橘会より、学生支援として、今年度も新入生へ防災キットを配布しました。

～橘会役員の皆様からのメッセージ～

近年日本では地震や記録的な大雨などが頻繁に起きており、災害時に对する備えを考える時だと思います。いつ起きても不思議ではない大災害。その災害に遭うのは自宅や学校に居る時だけとは限りません。

常に防災意識を持ってもらいたいとの思いから、非常用携帯防災セットを用意致しました。

非常時にご活用ください。



令和4年度 立正150橋会基金 報告

今年度より、橋会（保護者の会）は学生支援の一環として「立正150橋会基金」を開始しました。初年度となる今年は、前期・後期の2回に分けて、勉学意欲があっても家計の困窮等により学費支弁が難しい学生に向けて奨学金の支援を行いました。

採用者は前期7名、後期5名となっており、採用者には、300,000円の奨学金支給を行いました。令和5年度も引き続き、実施を予定しております。

【令和5年度 立正150橋会基金 募集について】

令和5年度の「立正150橋会基金」の募集は昨年度同様前期を6月、後期を10月に予定しております。

詳細につきましては、学生ポータルサイトおよび、校友会ホームページ (<https://alumni.rissho.jp/>) へ掲載いたしますので、応募をご希望される方はご確認ください。

【立正150橋会基金】

《設立趣旨》

過去からの保護者の皆様から頂いた会費を有効活用することを目的に、長期間にわたり学生支援を行う方法として基金を設立し奨学金支給を行う。

《原資》

立正大学橋会積立金 100,000,000円を当てる。

《支給金額》

1回につき300,000円

《支給対象人数》

若干名

《対象学生》

成績に関係なく環境や経済的状況による学費の支弁が困難な学生および家計急変による勉学が困難となった学生へ支援。

《応募方法》

学生ポータルサイトおよび校友会ホームページに掲載されている必要書類を記入し、提出する。

《選考方法》

立正大学橋会正副会長により行なわれる。

《結果の発表》

前期：7月中旬予定 後期：11月中旬予定

《問い合わせ先》

立正大学学長室校友課

TEL：03-3493-6673 Email:alu@ris.ac.jp

★橋会役員募集のお知らせ★

橋会では、一緒に活動を行って頂ける方を募集しております。

ご興味のある方は、是非お問い合わせください。

《問い合わせ先》学長室校友課 TEL：03-3493-6673 Email：alu@ris.ac.jp



INFORMATION

立正大学生涯メールに関するご案内

立正大学では、卒業生・修了生が卒業後も使用出来るメールサービスを行なっております。

同窓生同士の交流を始め、大学との情報交換等にご利用頂ければと存じます。

メールサービスは無償・永年利用可能となります。

ただし、生涯メール利用のお申込後、1年間メールサービスへのログインが無かった場合は、メールサービスの管理上、利用を停止させていただきますので、ご了承ください。

なお、メールご利用の再開につきましては、学長室 校友課宛にご連絡をください。ご利用再開のお手続を行わせていただきます。生涯メールにつきましては、校友会ホームページにも掲載がございますので、併せてご参照ください。

【立正大学校友会ホームページ】

<https://alumni.rissho.jp/inquiry/mail.html>

【お問合わせ先】 学長室校友課

(TEL) 03-3493-6673 (Email) alu@ris.ac.jp

校友会会員情報について

ご登録を頂いておりますお名前・ご住所・電話番号・勤務先等のご変更および訂正等がございましたら、下記までご連絡ください。

【変更内容】

- ◆氏名 ◆ご住所 ◆電話番号
- ◆メールアドレス ◆勤務先・職業

*変更に関するご連絡を頂く場合には、校友会会員番号（校友会報・学園新聞宛名下にある番号）を併せてお知らせください。

【お問合わせ・お届け先】

立正大学学長室校友課

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

☎03-3493-6673 FAX : 03-3493-9068

Email : alu@ris.ac.jp

■専用紙は立正大学校友会ホームページよりダウンロード頂けます (<https://alumni.rissho.jp/inquiry/data.html>)

【お知らせください】

◆卒業生の活動情報やクラブ・サークルOB/OG会開催、卒業生のお店紹介等卒業生の方のご活躍情報がございましたら、お寄せください。

教職員訃報

【令和4年8月1日～令和5年3月31日】

元大学事務局司書部長兼大学事務局司書部閲覧奉仕課長 高木 靖 朗 氏 (10月28日逝去)
元大学事務局 秋 山 正 次 氏 (8月 逝去)
元文学部教授 河 北 勝 氏 (9月24日逝去)
名誉教授 小 松 邦 彰 氏 (10月26日逝去)

ご冥福をお祈り申し上げます



発行者

立正大学校友会
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

発行人

立正大学長・校友会長 寺尾英智

編集

立正大学学長室校友課

電話

03-3493-6673

URL

<https://alumni.rissho.jp/>